



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

2020年7月1日

国立大学法人 山梨大学

令和2年度事業計画：台風19号の出水による底生動物・魚類への

影響評価

【事業の概要】

2019年に発生した台風19号による降雨で、山梨県内の河川でも大きな出水がみられた。これによる河川の攪乱は底生動物・魚類の生息状況へ影響を与えたことが予想される。本事業では台風通過前と後の河川生物の生息状況を比較することで、台風が河川生態系へもたらした影響を明らかにする。

- (1) 2020年5月、8月、11月の河川環境・底生動物調査
- (2) 2018-2020年に採取した底生動物の分析
- (3) 2018-2020年に採取した環境DNAに基づく魚類・底生動物の群集構造調査
- (4) 台風19号前後の群集構造の比較

【役割分担】

- (1) 大学：事業の全般を担当する
- (2) 甲府河川国道事務所：これまでに実施された河川水辺の国勢調査データの提供
(研究協力：一部環境DNA分析を山梨県環境科学検査センターと共同で行う)